



農協だより

Vol.62

URL: <http://www.ja-aki.jp>

平成 23 年 10 月

平成23年産 米穀の買入れ価格決定

今年は、日照時間が5月下旬～6月中旬まで少なかったものの、その後天候が回復したことから中国地方では作柄は平年並みとなっています。

昨年は、米価が下がりましたが、東日本大震災、福島原発問題、平成22年産米の在庫量等色々な情勢の中で前年よりは高く買入れることにいたしました。

全国農業協同組合連合会の平成23年産米の概算金は、主食用うるち米コシヒカリ1等6,300円/30kg、ヒノヒカリ1等5,700円/30kgに決まりました。

JA安芸では、「管内で収穫された米穀は管内で消費」することを基本として安芸農業協同組合独自の高価買入れ価格を下記のとおり決定いたしました。

出荷を希望される方は、お近くの支店、購買部または、営農指導センターへお申し出ください。**是非、安芸農協へ全量出荷していただきますようお願い申し上げます。**

平成23年産 米穀買入れ価格		円/30kg			
銘柄		1等	2等	3等	規格外・古米
コシヒカリ		8,000	7,500	7,000	4,200
ヒノヒカリ		7,600	7,200	6,800	4,200
あきろまん		7,400	7,100	6,700	4,200
ひとめぼれ・あきたこまち		7,200	6,900	6,500	4,200
上記以外の銘柄		6,800	6,500	5,900	4,200
こだわり米	食味値 83 以上	8,500	-	-	-
	食味値 70～83 未満	8,000	7,800	7,100	4,200

上記価格は11月末までの価格です。各等級ともに12月～3月までは100円、4月以降は500円下がります。

平成23年産 米集荷はじまる

9月28日に1回目の米集荷を行いました。早生品種を中心に946袋集荷させていただきました。昨年に比べ残暑が厳しくなかったため、心白・乳白粒などの白い米は少なく品質としてはよいのですが、カメムシの着色により等級が下がる傾向にあり、今回の検査では1等米比率が40%と低迷する結果となりました。



農業祭開催日のご案内

今年は、台風12号、15号の影響や、9月中旬まで残暑が厳しく農作業にご苦労されていることと思います。

今年も各地区で地域農業振興及び地域住民（消費者）の方に農業理解を深めていただくことを目的に開催されますので、多数出品をお願いいたします。

- ☆かいた農業祭 H23年11月20日(日)
- ☆阿戸町農業祭 H23年11月20日(日)
- ☆熊野町農業祭 H23年11月27日(日)
- ☆瀬野川農業祭 H23年11月20日(日)
- ☆坂町農産物品評会 H23年12月4日(日)



水田の 土 壌 診 断 について

JA安芸では品質の良い米作りと適正な施肥管理のため、水田の土壌診断を実施いたします。(分析はJA西日本肥料研究所で行います。)診断した土壌は、個々に土壌診断処方箋を作成して申し込み者へ送付いたします。ぜひこの機会に土壌診断を受けられることをお勧めします。申込は下記の通り行いますのでよろしくお願い申し上げます。

— 記 —

- ① 診断項目 PH・有効態りん酸・遊離酸化鉄・有効けい酸・腐植
- ② 土壌提出先 JA安芸 各支店購買窓口及び熊野購買センター
- ③ 提出期限 平成23年11月10日(木)
- ④ 検査の費用 無料(住所、氏名をTACシステムに登録させていただきます。)
- ⑤ 土壌サンプルの取り方 別紙添付しておりますので正しく取ってください。



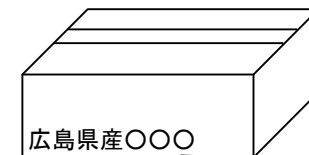
- 注) 乾燥して粉碎してふるいをかけた物でないとお引き受けできません。土はビニールに入れて氏名、住所、電話番号、土の区分のわかるものを付けてください。
- ⑥ 土壌診断結果 個別にお知らせいたします。
 - ⑦ 土壌診断を行うメリット

- 圃場の土壌状態がわかる。
- 土壌診断結果をもとに施肥を行い、土壌中の肥料バランスを整えることができる。
- 土壌診断を行い適正・過剰な成分があった場合は、減肥できる為コストの低減ができる。
- 来月にも土壌診断の受付をする予定です。

農産物出荷資材(段ボール・製資材)の表示

今生鮮食品品質表示基準より出荷用資材(段ボール、製資材)には最低表示として(段ボール、製資材)には最低表示として「名称」「原産地」「出荷元」が義務付けられています。

生鮮食品の表示事項 農産物→「名称」「原産地」価値



野菜名

10月営農メモ

..花き..

ハードニングは「順化」「硬化」という意味で、花きでは出荷前の鉢花や花壇苗などに行う処理のひとつです。その目的にはハードニングによって引き締まった草姿にし、出荷時の見栄えをよくするということが、また、消費者が購入後に栽培環境が変化しても品質低下を起りにくくするということがあります。方法は温度、灌水、施肥、光線のコントロールなどによって行われますが、薬剤を処理する場合があります。灌水コントロールは栽培時の多過ぎる灌水は花きを軟弱徒長させたり、ひどい場合は根腐りを引き起こしたりしますが、灌水を控えることで、硬くしまった生育をするようになります。また、乾燥気味に育てた花きは、植え付けた後で根の伸長が旺盛になり、活着が良好になります。ただし、栽培初期から乾燥気味の管理をすると、生育そのものが遅延しますので、灌水のコントロールは生育後半に行うのがよいでしょう。施肥コントロールは出荷前後にチッソが多い肥料を与えると、花き体内のチッソ濃度が上昇し、呼吸量が増加します。出荷後は店内に置かれたり、トレイの中に詰められたまま販売されるなど、十分に光合成ができない環境に置かれる場合が少なくないので、植物体内の炭水化物の消費が多くなり、葉の黄化や花持ちの悪化など品質低下が起ります。出荷前後の施肥は慎むことが大切です。

販売終了農薬の対応について

農薬の登録制度にあたっては、3年ごとに農薬登録の更新が義務付けられています。この更新に際しては、より農薬使用における安全性を担保する観点から、様々な安全性評価に関する追加データの提出や、環境や生物などに対する安全性評価試験が必要となります。

各農薬メーカーは、農薬の登録更新をする際にこれらのデータギャップを埋めるため、新たな投資を行い必要な試験を実施し、データを作成し国へ登録更新申請をします。

しかしながら、販売数量の減少などにより一定の利用が確保できない剤や、安全性評価試験に際して莫大な投資が必要な剤など更新を断念する品目も年々増えてきています。

こうした状況のなか、この度本県では古くから使用されてきた、園芸用殺虫剤「ディプテレックス乳剤・粉剤」や「ダイアジノン粒剤」が登録を更新せず販売を終了する連絡がありました。

今回、各薬剤の販売終了時期および、県内で多く使用されている「ディプテレックス乳剤」代替剤についてまとめましたので現場指導の参考としてご活用ください。なお、使用基準（倍数、回数、使用時期など）については、アピネス等で最新の登録内容をご確認ください。

■メーカー販売終了時期（予定）

- ・ディプテレックス乳剤・粉剤 : 平成24年3月末
- ・ダイアジノン粒剤 : 平成24年9月末
- ・サダン水中和剤25・7077P : 平成23年9月末
- ・バイト水中和剤5・25 : 平成24年3月末
- ・バicontrol水中和剤 : 平成24年3月末

※上記の販売終了時期はあくまで予定となっており、情勢によっては早まる可能性がありますのでご承知おきください。また、平成24年農業年度（H23.12～）において在庫販売となりますので併せてご承知ください。

※農薬の使用については、農薬の製品ラベルに記載のある「有効期限」を優先することから、ラベルの有効期限内使用は法律上問題ありません。ただし、有効期限が切れた農薬の場合は例外となります。期限が切れた農薬は農産物への使用をしないように指導徹底をお願いします。

ディプテレックス乳剤代替剤一覧表

作物名	有機リン系		合成ピレスロイド系	
	スミチオン乳剤	カルホス乳剤	トレボン乳剤	アディオン乳剤
稲・野菜				
稲	○		○	
いちご	○(露地のみ)	○		○
かぼちゃ	○			○
カリフラワー				○
かんしょ	○		○	○
キャベツ		○	○	○
きゅうり	○		○	○
すいか	○		○	○
だいこん			○	○
たばこ		○	○	
てんさい			○	○
なす	○		○	○
はくさい			○	○
ばれいしょ	○		○	○
メロン	○		○	○
茶	○	○	○	○
果樹				
かき	○			
キウイフルーツ				○
なし	○			
ぶどう	○			
みかん	○			
りんご	○			
花き、樹木類				
いちょう(種子)	○			
カーネーション	○		○	
さんごじゅ	○			
まつ類	○			
花き類、観葉植物(カーネーション、宿根かすみそう、ほうずきを除く)	○	○		○
芝	○	○		
樹木類	○	○		
樹木類(さんごじゅを除く)	○	○	○	
宿根かすみそう	○		○	